



令和3年3月2日

同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ



休山改良 完成後の整備効果をお知らせします。 ～4車線化により走行環境が改善されました～

平成31年3月10日（日）に2車線から4車線化しました、休山改良の完成後の整備効果について、取りまとめましたので、お知らせします。

<効 果>

(1) 所要時間の短縮

休山改良の完成後、旅行速度が向上し、本通一丁目交差点～先小倉交差点間の所要時間が、約17分→約12分となり、約5分短縮されました。

(2) 事故による通行止め影響の縮減

事故等に起因した通行止めについて、4車線化後は発生回数と通行規制時間が減少しています。

(3) 空港アクセスの向上

最大遅れ時間が約16分→約10分となり、約6分改善され、ばらつきが減少しました。

(4) 救急医療活動の支援

呉市消防局東消防署管内から呉医療センターへの搬送について、搬送時間が約14分→約11分となり、約3分短縮し、患者への負担が軽減され、また、緊急車両の走行性も改善しています。

■写真：トンネル入口付近（長迫側「西側」）の状況



(問い合わせ先)

国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所

副所長 景山 浩孝 (かげやま ひろたか)

【担当】計画課長 北城 崇史 (きたじょう たかふみ)

TEL (082) 281-4131 (代表) FAX (082) 286-7897

○広島国道事務所ホームページ <https://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>

道路の異状を発見したら… 道路緊急ダイヤル 緊急通報 #9910へ

事業概要

一般国道185号 休山改良事業

- 一般国道185号休山改良は、交通渋滞の緩和や交通安全の確保等を目的とした、呉市本通6丁目と呉市阿賀中央6丁目^{くれ ほんどおり}と呉市阿賀中央6丁目^{くれ あが ちゅうおう}を結ぶ延長2.6kmの整備事業であり平成31年3月10日に4車線化が完成しました。

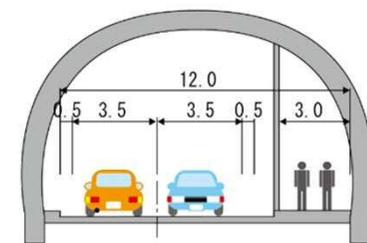


計画概要

起 終 点	起点：広島県呉市本通6丁目 ^{くれ ほんどおり} 終点：広島県呉市阿賀中央6丁目 ^{くれ あが ちゅうおう}
延 長	約 2.6 km
車 線 数	4車線
開 通	平成31年3月10日

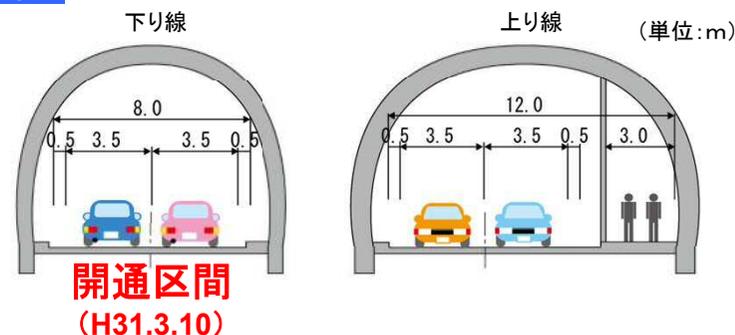
標準断面

完成前



暫定2車線供用
(H14.3開通済)

完成後



▲完成前:休山トンネル西口交差点付近

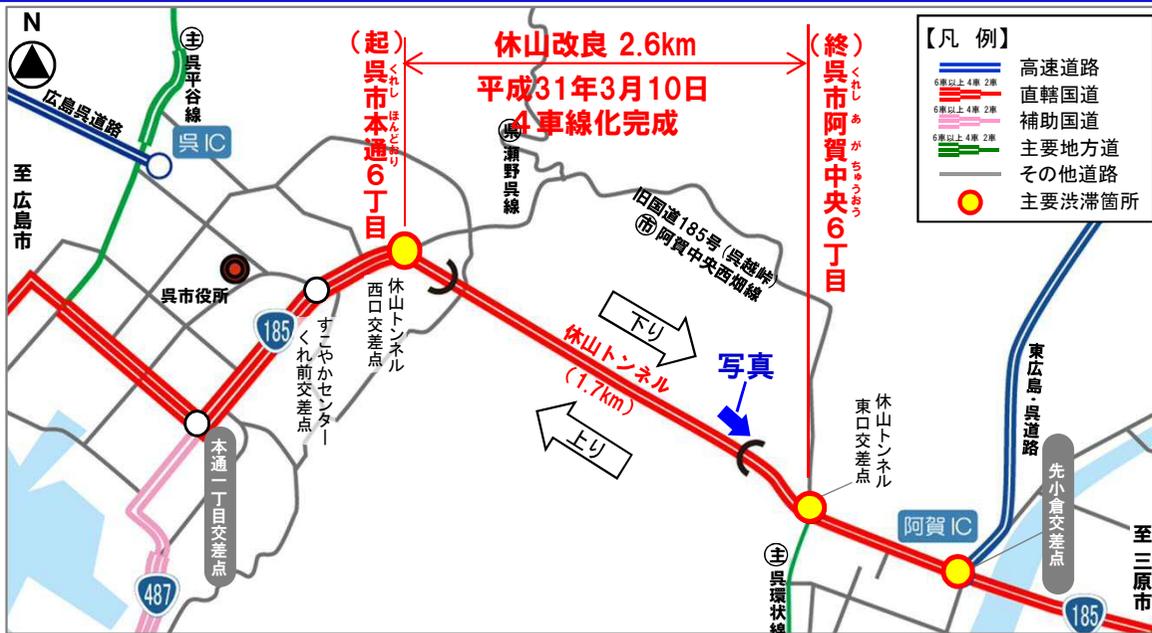


▲完成後:休山トンネル西口交差点付近

整備効果① 所要時間の短縮

休山トンネル周辺で発生している交通渋滞の緩和により所要時間が短縮

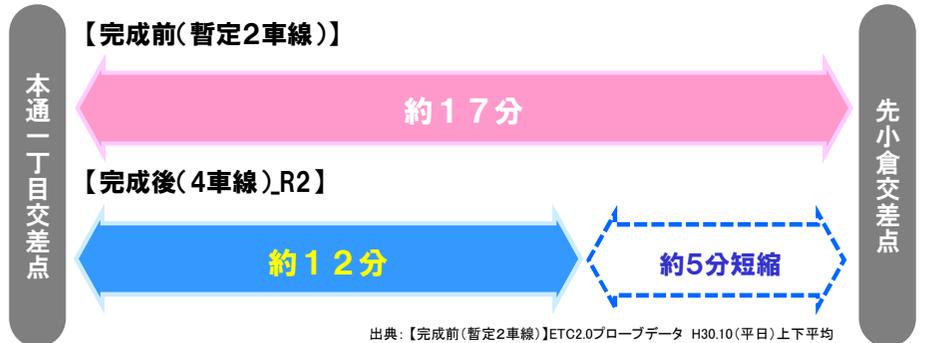
- ・ 並行する呉越峠の交通が休山新道に転換したことにより、休山改良区間の利用交通割合は約5%増加しています。
- ・ 特に、上り線はスムーズな交通が確保され、速度低下が大幅に改善されています。
- ・ 4車線化完成後、朝夕ピーク時において所要時間が約5分短縮されました。



渋滞状況の変化(上り方向)

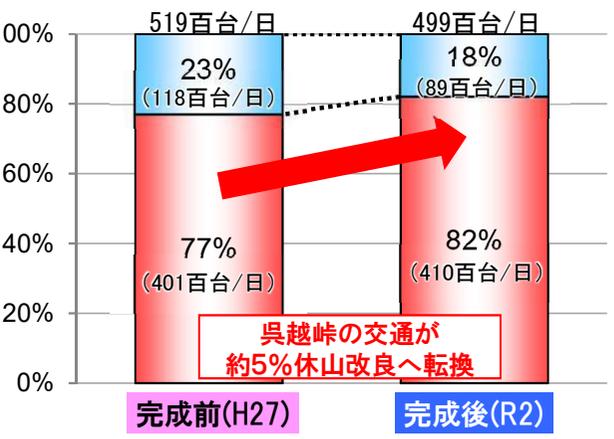


所要時間の短縮(上下平均)



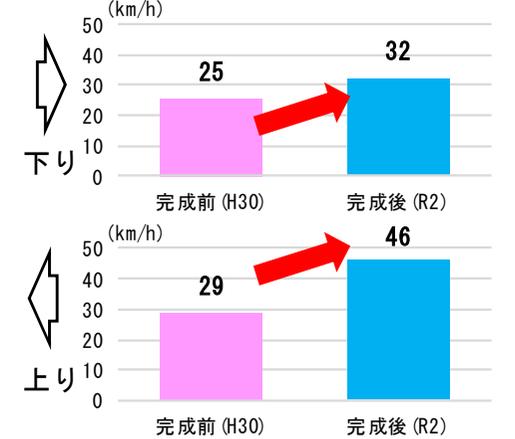
出典:【完成前(暫定2車線)】ETC2.0プローブデータ H30.10(平日)上下平均
【完成後(4車線)】ETC2.0プローブデータ R2.10(平日)上下平均
※ピーク時(7.8.17.18時台)の平均旅行速度

交通量の状況(休山改良・呉越峠)



出典:【完成前】平成27年7月15日(水)調査結果
【完成後(R2)】令和2年9月16日(水)調査結果

旅行速度の変化(平日昼間平均)



出典: ETC2.0プローブデータ(平日)
完成前(暫定2車線): H30.10、完成後(4車線): R2.10
※昼間12時間(平日7:00~19:00)の平均旅行速度
※休山トンネル西口~休山トンネル東口区間で算出

自治体の声

・ 休山トンネルは、朝夕の通勤時間を中心に慢性的に混雑が発生していました。

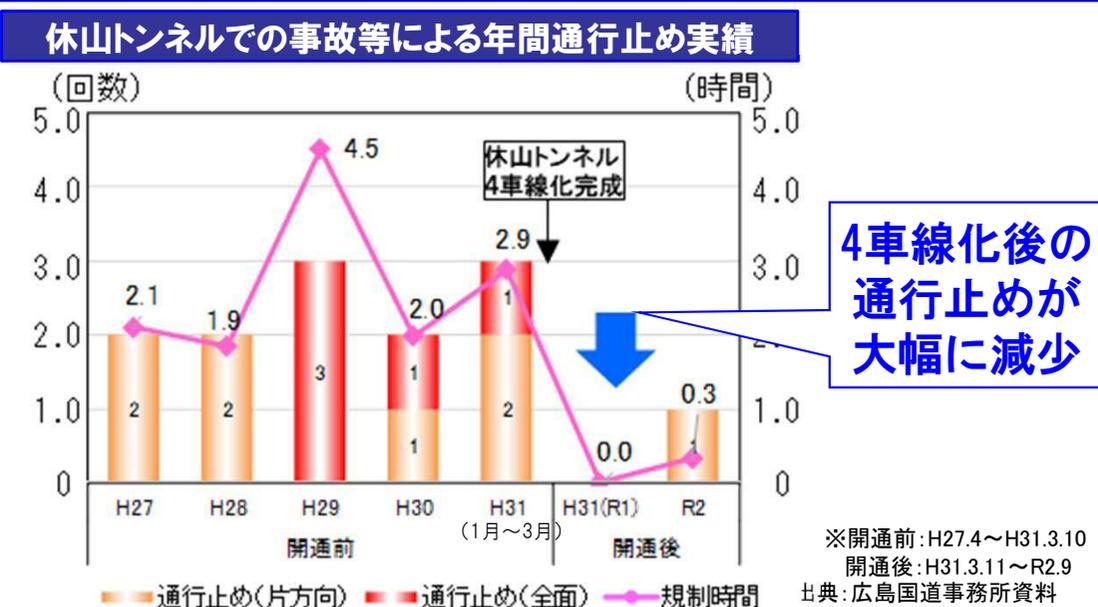
・ 呉方面(上り)に向かう際の渋滞は休山トンネルがボトルネックでしたが、4車線化により渋滞が解消され、呉・広間における交通がスムーズになりました。



整備効果② 事故による通行止め影響の縮減

通行止め時の大幅な迂回が解消

- ・休山トンネル付近では、4車線化完成前で事故等に起因した通行止めが約2~3回/年発生していましたが、4車線化後は発生回数と通行規制時間が減少しています。また通行止め時に発生していた大幅な迂回についても解消しました。
- ・4車線化完成後、渋滞が緩和され追突事故等が減少するなど死傷事故件数は約3割減少しています。
- ・休山改良4車線化により全面通行止めがなくなったことで、地域を結ぶ幹線道路としての機能が高まっています。



4車線化後の通行止めが大幅に減少

休山改良の死傷事故の発生状況



地域の声

・休山トンネルでの通行止めによる通行断絶が起きないことは大きな効果と感じている。4車線化前は事故等の通行止めですべてを大きく迂回しなければならなかったが、4車線化後はそういった事象は起きていない。

・休山トンネルが4車線化開通したことで通行止めがなくなり、業務を通常通り行う上でとても助かっています。



整備効果④ 救急医療活動の支援

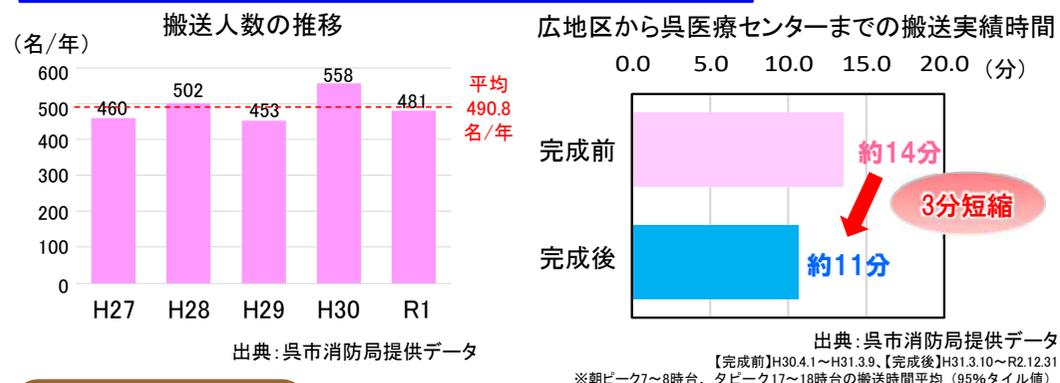
円滑な救急搬送による患者負担の軽減

- ・ 呉市消防局東消防署管内から呉医療センター（三次医療施設）への搬送は、休山トンネル入口付近の渋滞による搬送の妨げや、トンネル内のセンターライン上にあるポールが追い越し時に支障となり、現場到着に時間を要していました。
- ・ 休山改良4車線化完成後、広方面から呉医療センターへの搬送時間が約3分短縮し、患者への負担が軽減され、緊急車両の走行性も改善しています。

呉市消防局 東消防署管内の救急搬送



東消防署管内から呉医療センターへの搬送状況



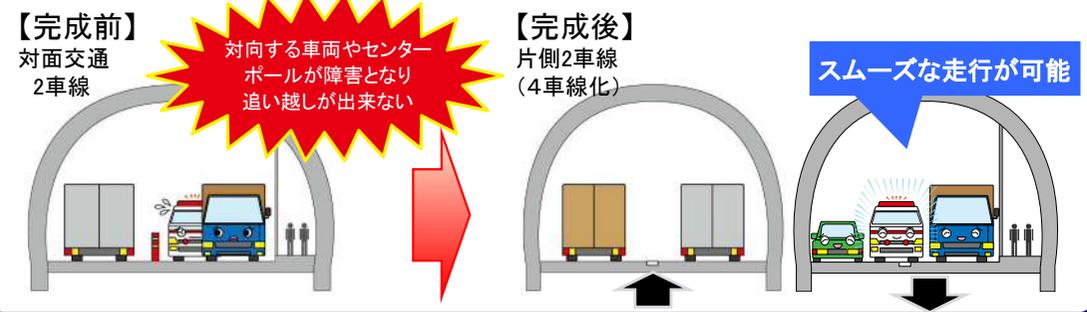
消防署の声

- ・ 休山トンネル付近は通勤時間帯は混雑していたのですが、4車線化により搬送時間が短縮され、比較的いつでも同じような時間で走行可能になりました。対面通行であった以前は、車両の追い越しをする場合、反対車線にはみ出して走行する必要がありましたが、4車線化により安全性が増しました。
- ・ また、追い越しでのセンターラインのポールを避けた蛇行運転が無くなったため、車内での救急活動が行いやすくなりました。

(R元年7月 呉市消防局ヒアリング結果)



救急車両の走行性改善



緊急車両の走行性改善



警察署の声

- ・ 休山トンネル4車線化（片側2車線）により、緊急車両が走行しやすくなり、即座に駆けつけることが可能となりました。

(R元年9月 呉・広警察署ヒアリング結果)

